

# 若狭国吉城歴史資料館だより

令和8年5月31日 第47号



## 【シャガ版限定御城朱印】

豊臣家家紋：五七桐(ごしちのきり)に、見事なシャガの群生写真をあしらった初夏らしいデザイン



## 令和8年 国吉城まつり開催



### ～三英傑入城 456年 戦国の熱気、国吉城によみがえる～

5月5日(火・祝)、国吉城址が一年で最も賑わいを見せる「国吉城まつり」が開催されました。雲一つない晴天の中、多彩なイベントが行われ、会場は多くの来場者で活気にあふれていました。資料館でもさまざまな企画を実施し、戦国の魅力を存分に感じられる一日となりました。今回は、歴史ロマンに包まれた国吉城まつり当日の様子をお伝えします！！

### ☆国吉城歴史散策☆

「歴史散策」では、午前9時より特設テントで受付を開始し、午前10時から参加者一同で本丸跡を目指して登山をスタートしました。道すがら参加をご希望の方も加わり、最終的には総勢45名での大変にぎやかな一行となりました。

新緑のなか、登山道の両側には満開を迎えたシャガの花が咲き誇り、参加者の皆さんの目を楽しませ、道中に彩りを添えてくれました。道中の要所要所で館長による歴史解説が行われ、皆さん熱心に耳を傾けていました。特に、伝二ノ丸の喰い違い虎口や土塁の説明では、実際に歩いて体感することで城を守る防御の仕組みや役割への理解が深まったようで、「とても勉強になった」と喜んでおられました。

本丸跡に到着すると、三英傑も眺めたといわれる若狭湾の美しい景色に、「海の青色が本当にきれい！ここまで来てよかった！」と、満足気な様子が見られました。また、本丸跡入口にある【鏡石】で、徳川家康と木下藤吉郎が囲碁に興じたという伝承に驚きの声が上がりました。最後に、参加者全員で笑顔の記念撮影を実施しました。

参加者からは、「一人で散策してもなかなか理解できないので、このように解説を聞きながら現地を歩くとてもよかったです！！」との感想も寄せられ、歴史と自然の魅力を満喫できた大変充実したひとときになりました。



【散策の様子】



【笑顔の記念撮影】



【参加記念御城朱印☆館長よりプレゼント☆】

## 20年振り！火縄銃演武！！

開会式の後、平成18年に開催された国吉城まつりから20年の時を経て、国友鉄砲研究会(滋賀県長浜市)による演武が行われ、会場に轟音が響き渡りました。

披露された「江州・国友 能當流砲術」は、大名に鉄砲を献上する際に出来を披露することを目的とした砲術で、【鉄砲鍛冶の里・国友】ならではの臨場感あふれる迫力に、来場者から拍手と歓声が上がりました。

また、鉄砲の解説や歴史、当時の戦術についての解説も行われ、戦国時代の合戦事情や技術への理解を深める貴重な機会となりました。万緑のなかでの火縄銃演武は来場者の心を掴み、硝煙の匂いとともに記憶に刻まれる時間になりました。



## 今年も開催！御城印揮毫会！

昨年、大好評をいただいた国吉城主粟屋氏の末裔、藪井有希(やぶいあき)さんによる御城印揮毫会を今年も実施し、多くの御城印ファンで賑わいました。

今回は、国吉城主粟屋越中守勝久の曾孫に当たる臼杵藩士粟屋十郎左衛門による「先祖由来書」に記された【佐賀伎城(国吉城のこと)】と揮毫していただきました。揮毫会では、行書と楷書に加え、金字・黒字の文字色、4種類の台紙から好みのものを選択。参加者は、家族や友人と楽しそうに相談しながら思い思いに選び、目の前で揮毫される藪井さんの力強い筆運びに見入っていました。藪井さんとの会話を楽しむ姿も見られ、会場は終始和気あいあいとした雰囲気になっていました。



【金字・行書】



【黒字・楷書】

## 歴史小噺 「越前若狭に伝わる明智光秀とは？」



まつりの大トリを飾る「歴史小噺」では、【京都・長岡京おもてなし武将隊つつじ】より明智光秀公・玉子様(ガラシャ)と、大野館長が登壇しました。

福井県と深いつながりを持つ明智光秀について、館長がわかりやすく解説し、玉子様の生誕地伝承:福井市東大味(ひがしおおみ)などが紹介されました。玉子様は、「当時、わたくし小さかったのどこで産まれたかわからない」と微笑ましく語られていました。

続いて、「金ヶ崎の退き口」における明智光秀の立場について、「明十」が殿(しんがり)を務めたと、『一色藤長書状』に記述がされていること、当時、光秀は足利将軍に仕えており、幕府軍として朝倉攻めに参戦した可能性があること…などの説明がありました。館長による新たな視点に会場の皆さんからは「なるほど～」と、感心の声が上がりました。

そして、国吉城が信長軍の撤退を支える重要な拠点となったことについて解説。金ヶ崎城は、三方を海に囲まれているため、敵を迎え撃つには適さず、国吉城は、金ヶ崎城から約10キロ離れた若越国境に位置し、幕府軍が最初に本陣とした城でした。難攻不落の国吉城まで逃げ切れれば無事に退却できたと思われ、朝倉勢にとっても、越前から信長軍を追い出すことが目的で

国吉城まで追撃することもなかったとの見解に、皆さん国吉城の役割の大きさを改めて感じていました。

「本能寺の変」で、“光秀が本能寺にいなかった説”を、館長が単刀直入に光秀公に尋ねる場面では、うまく光秀公にはぐらかされ会場からは笑いが…。光秀公への質問では、玉子様の細川忠興への輿入れの話になり、「心配があった。」と父親らしい正直な気持ちをお話しされ、玉子様から「父上、ご心配なく。」という父娘の会話に、会場もあたたかな空気に包まれました。

最後に、お二人から記念御城朱印が手渡され、笑顔が溢れる華やかな時間になりました。



【☆参加記念御城朱印プレゼント☆】



京都・長岡京 おもてなし武将隊つつじとは…  
長岡京の歴史・魅力を発信するためゆかりのある  
武将・姫が現世によみがえりし者。



# 令和 8 年 国吉城まつり Photo Album



【開会式：戸嶋町長挨拶】



【福井伝統工芸アイドル「さくらいと」】



【風音：オカリナ】



【新風エイサー：三線グループ】



【京都・長岡京おもてなし武将隊つっじ】



【向日葵：ギター弾き語り】



【ぶぶの星たち：ギター弾き語り】



【美浜 JAZZ オーケストラ】



【的あてゲーム】



【甲冑体験】



【ミニ縁日】



【館内の様子】



【会場の様子】

たくさんの方々に  
ご来場いただきました！

**1,233 人**

(資料館調べ)

ありがとうございました。

★他にも多数のイベントあり★

# ★ 資料館 HOT NEWS ★

## 城コレ2026・初夏 ～ミニ屏風の世界～

7月12日(日)まで、春季トピックス展として【城コレ2026・初夏～ミニ屏風の世界～】を開催しています。

精巧に描かれたさまざまな大きさの屏風が並び、いにしえの世界が広がっています。合戦図に描かれた武者を乗せた馬の躍動感あふれる姿や、戦に向かう武者の勇ましい表情は一見の価値あり！見応え充分です！

ぜひ、ご来館いただきお近くでご覧ください。



## R8年度 企画展年間スケジュール

四季折々に楽しんでいただける企画を計画しています。どうぞご期待下さい。(^^)/

開催内容	展示期間	展示テーマ
夏季企画展	7月18日(土) ～ 10月12日(月・祝)	3館連携企画展 <b>豊臣政権と佐柿</b> ～国吉城と城下～
秋季トピックス展	10月17日(土) ～ 12月27日(日)	美浜町歴史文化館交換展示 <b>美浜の原風景</b>
冬季トピックス展	1月9日(土) ～ 4月18日(日)	<b>城コレ2027・冬</b>

## 卯月～皐月 Photo Album

【大野治長公来館】

【道新サービスセンター】



【美浜中学校ふるさと学習】



【1年1組】

【1年2組】

## R8年度 国吉城歴史講座

皆さま、お待たせいたしました。(^^)/

歴史講座のスケジュールは、以下の通りです。

第2回目は、歴史遺産を活かしたまちづくりについて、住民主体の活動の大切さをお話いただきます。◎お申込みはお電話 or FAX にて。

### 年間テーマ「豊臣兄弟と戦国、国吉城」

2	6/27(土) 10:00～12:00	<b>熊川宿のまちづくり</b> ～秀吉の重臣が築いた宿場町の継承～ 若狭熊川宿まちづくり特別委員会 会長 宮本哲男氏
3	7/18(土)～8/30(日) ※休館日を除く毎日	<b>夏休みワークショップ</b> オリジナル御城朱印をつくろう
4	9/27(日) 13:30～15:30	<b>朝倉氏の視点で迫る</b> <b>金ヶ崎の退き口(仮)</b> 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 学芸員 宮永一美氏
5	10/18(日) 10:00～12:00	<b>古里をのろしでつなごうin国吉城</b> 当館館長 大野康弘
6	※調整中	<b>国吉城城址特別見学会(仮)</b> ～木村常陸介定光の痕跡をたどる～

2026年5月31日現在 来館者数

# 129,217名



【Facebook】



【H・P】

QRコードを  
よみかめのかん



## ◆ 籠城後記 ◆

初めまして！4月より勤務し、初の国吉城まつりが大盛況に終わってほっとしております。

勤める中で全国各地からたくさんのお客さまに訪れていただいていることを知り、こんなに貴重な文化財が地元に残っていることを誇りに思いました。

少しでも皆さまに喜んでいただけるように日々励んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします！ wood

編集：発行

美浜町教育委員会事務局 若狭国吉城歴史資料館

〒919-1132 福井県三方郡美浜町佐柿 25-2

TEL.0770-32-0050:FAX.0770-32-0057